

花見山のふもとで花と自然の中の保育実践

社会福祉法人 わたり福祉会

さくら保育園





・春の親子遠足では、花見山へ登りました。
春の花、「スミレ」「タンポポ」「ツクシ」「レンギョウ」「いぬふぐり」「ボケ」等、花見山に咲き誇る花、一つひとつに関心を持ちながら歩きました。
「オハナがあったよ」、「おいしそう」とイメージの世界を楽しんでいます。



・立札の看板の文字を親子楽しみながら読み、初めて知った花もありました。
・スタンプラリー台紙に見つけた花、虫、草、の名前を歩きながらみつけては、シールで貼り、花見山の花の名前を改めて知ることができました。「おんなじのあったね」、「シールはって」と貼ってもらって楽しそうでした。

～ 春 花見山の花の名前を知り、あそびの中でわかったこと～

- ・毎月の誕生会には、自分たちでみた「パンジー」やマリーゴールドなどの花びらをイメージして、花の模様切りを楽しみました。
- ・図鑑などでも見たり花びらの数を数えたり興味を持って切っています。

折り紙を折り四つ角を切って広げると、花が咲いたようになります。「オハナガサイタ」「イツパイ」「キレイダネ」と友だちと話しながら取り組みました。

- ・図画工作活動を通して、花に関心を寄せて取り組む活動をきっかけにして、ハサミやのりの取り組みが、豊かに広がりました。



～夏、園庭に咲いていた花をイメージし、描画、図画工作活動へ発展～



・秋、花見山のふもとに保育園があることから「ジ
ブンタチモシタイ」「ハナウエタノシイ」と保育園の
花壇に花を植えました。

・「何色がいい？」と植える時の色合いを考えなが
ら、取り組みました。

「ヤサシクネ」と友達同士で教えあったり、花の根
元をおさえ難いところもありましたが、一生懸命
に取り組みました。

また、

・春になったら花見山にも花が咲くかな？ 保育園
のパンジーも大きくなるかな？と話しながら、自分
たちの植えたパンジーを、お父さんやお母さんた
ちにも見せたい思いで活動しました。

～ 秋保育園の周りに自分たちで花を植える楽しい活動と散歩～

・春の遠足や夏まつり、運動会、クラス懇談会の中で、子どもの成長、子育てのことなど、みんなで語り合い、保護者同士で繋がりがあって取り組んできました

・今年度は、コロナ禍の中で、活動は充分ではありませんでした。花に興味と関心が持てた遠足をきっかけにして、家庭でも話題にしてもらいました。

春、夏、秋、冬の自然に親しむことの大切さなどを、保護者と共有しました。また、毎日とっていいほど、散歩を楽しみました。「いいものあるかな～」と山でいいもの探しを楽しんでいます。「なんのはな？」「がんばって、うえまでいこうよ」と友だち同士で取り組んできました。



～保護者と共に共同の取り組みを通して考えたこと～



・渡利地域の花見山、殿上山は、自然に恵まれています。子どもたちは、散歩中、わらべうたを口ずさみ立ち止まって、花や草花を見つめ、手に取って遊びます。



・「ずくぼんじょ、ずくぼんじょずっきんかぶって、でてこらさい」
「たんぽぽ、たんぽぽ、むこうやまへとんでいけ」等とわらべうたあそびの中で、季節、の花や虫なども手に取り、触って、匂いをかいだり、たくさんの体験ができるように遊びの世界を楽しんできました。子どもたちの五感が発展していく活動につながりました。

～わらべうたあそびは、子どもの心をとりもどし豊かな心をはぐくむ～



・保護者の協力で荒馬作りをしました。
姉妹園との荒馬踊りの交流、平石と渡利の自然の交流もしつつ、日本の伝統文化を保育の中に取り入れた取り組みを年間通して取り組みました。
荒馬踊りでは、秋祭り、運動会、卒園式に行いました。

～日本の文化を通し心が踊る、体も踊る、遊びの中で心をはぐくむ～